

国立研究開発法人国立長寿医療研究センター
平成30年度第3回契約監視委員会議事概要

開催日	平成30年12月12日(水) 10:00 ~ 11:00
場所	外来棟6階 特別会議室
委員	<p>委員長 二村 友佳子 (監事) 委員 橋本 修三 (監事) 委員 佐藤 亮達 (公認会計士) 委員 岡村 幹吉 (公認会計士)</p> <p>(オブザーバー) 浅野 修 (財務経理部長) 中谷 晶光 (財務経理課長) 宮森 勇仁 (調達企画室長) 田島 伊一 (契約係長) 松延 咲 (研究契約係長) (事務局) 沖田 光郎 (監査室長)</p>
審議事項	<p>1. 競争性のない随意契約 2. 前回一者応札又は落札率100%であったもの 3. 締結した契約が一者応札又は落札率が100%となったもの</p>
議事概要	<p>【審議事項1.「競争性のない随意契約」について】</p> <p>1) 今回審議案件17件(前回までの審議15件) 内訳 ①事前審議 8件 ②事後審議 9件 内容 ①契約理由について ②契約価格について ③一般競争入札等への意向の可否について ④点検、見直し後の契約等の状況について</p> <p>2) 点検結果 ・指摘なし(指針等適合) 17件 ・指摘あり(指針等不適合) 0件</p> <p>3) 監視委員の意見 ・財務会計システム、人事給与システムは、導入経費削減のため全ナショナルセンター共通のシステムを導入しているが、それが妥当か他の業者から見積書を聴取するなどして検討していただきたい。また、保守の金額が毎年上がってくるようであれば気をつけていただきたい。 ・X線テレビ装置と血管連続撮影装置の保守契約は同業者であるが、見積書では同様の業務内容であるにもかかわらず値引き金額にバラツキがある。契約金額は妥当であるか検証していただきたい。当初の契約において、保守、ランニングコストを含んだ長期計画を立て契約されたい。 ・「脳とからだの健康チェック追跡調査」にかかるデータ入力業務請負契約は、単なるデータ入力業務であるにもかかわらずデータの信憑性が失われるから、均質性を確保という理由で競争を許さないのか疑念を抱かれるのではないかと。同一業者からの研究成果の継続性、連続性、信憑性のため同一業者に依頼するという理由で整理すること。</p> <p>【審議事項2.「前回一者応札又は落札率100%」について】</p> <p>1) 今回審議案件 ・前回一者応札 0件(前回までの審議0件) ・前回落札率100% 0件(前回までの審議0件)</p> <p>2) 審議事項 ①競争性の確保のための改善策</p>

- ②仕様書の内容など具体的な条件の設定
- 3) 審議結果
・特に問題なし。

【審議事項3.「締結した契約が一者応札又は落札率が100%となったもの」】

- 1) 今回審議案件
内訳
・一者応札 7件 (前回までの審議11件)
・落札率100% 0件 (前回までの審議8件)
- 2) 点検結果
・指摘なし (指針等適合) 7件
- 3) 監視委員の意見
・特に問題はない